






これからの観光立国・日本を支える人材育成。

2008年、国は観光庁を設置し観光を産業として成長させる方針を打ち出しました。
 地方では、世界遺産登録の動きが相次いだり、外国人観光客を誘致する様々な政策が出されています。
 本県においては、遍路の巡礼や道後といった歴史ある観光資源に加え、
 しまなみ海道等の新たな観光資源にも恵まれており、
 観光立国を支える人材の育成が求められています。
 国際観光ビジネスコースは、このような要望に応える人材育成を目的としています。



国際分野

海運会社・商事会社
 国際ビジネス・海外事業所
 児童英語・子ども英会話


観光分野

旅行会社・添乗員
 ツアープランナー
 グリーンツーリズム (NPO 法人等)

ビジネス分野

会計事務所・営業職
 一般企業・医療事務
 医療秘書



国際観光ビジネスコースでの進路・活躍する職域

英語力の強化

国際分野

- TOEIC 150点アップ
- 実用英語検定 (英検) 2級
- 観光英語検定 2級
- 日本語能力試験 1級・2級
- 日本留学試験 日本語200点以上 (留学生対象)

国家資格の取得

観光分野

- 国内旅行業務取扱管理者 **国家資格**
- 総合旅行業務取扱管理者 **国家資格**
- 旅行地理検定 2級
- サービス接客検定 2級

ビジネス分野

- 日商簿記検定 (日商簿記) 2級
- エムエスオフィススペシャリスト検定 (MOS検定)
- ビジネス文書検定 2級
- 医事管理士・医療管理秘書士

国際観光ビジネスコースでの学び

学びながら自分に合った進路を見つける

高いビジネススキル



低い学費 (減免制度及び奨学金制度が充実)

- AO利用 → 入学年度授業料一律**25%**免除
- 公募特待推薦 → 入学年度授業料一律**25%**免除
- 指定校推薦 → 入学年度授業料一律**50%**免除
- 指定校特待推薦 → 入学年度授業料一律**50%**免除+奨学金(20万円)
- 社会人 → 入学金**50%**免除 + 奨学金(30万円)
- キャリアアップ利用 → 入学金**全額**免除 + 2年次授業料全額(48万円)免除 (学内再進学)

代表的カリキュラム(計画中)

- 「ホスピタリティ論」
ホスピタリティとは、来訪者に心こもった歓待やもてなしをすることで、その精神は茶の湯に通ずるとされます。国際観光ビジネスコースでは、学校茶道の実績を活かし、茶の湯でおもてなしの心を学びます。
- 「観光資源論」
遍路の体験学習を活かした観光資源論等、特色ある旅行・観光カリキュラムを用意。
- 「TOEIC 対策」
TOEIC のリスニングパートとリーディングパートを交互に解いていき、スコアアップの技術を身につける。
- CALL システムを導入した自習室でリスニング力を強化
CALL/Computer Assisted Language Learning では、全員が先生の指示で一言に学習するだけでなく、自分のペースで学習できるのが特徴です。例えば、自分の発音の弱点を見つけてこれの矯正に利用したり、練習の成果が保存されるので、到達度を確認しながらより効果的に学習できます。

やる気を高く評価し、
 更なる成果をほめる
 本学の「一芸・一能」
 特待奨学金&褒賞金制度

～右記資格取得者を優遇し
 更なる努力を褒賞します～

TOEIC400以上 TOEFL350以上 英検3級以上	入 学	TOEIC600 英検2級 観光英語2級	国内旅行取扱管理者(国)
全商ワープロ実務検定2級 全商情報処理検定2級 MOS検定、ITパスポート		MOS検定	総合旅行取扱管理者(国)
日商簿記3級 全経簿記3級 全商簿記2級		日商簿記1・2級	サービス接客検定2級
一芸・一能奨学金最大24万円 (入試形態により異なります)		一能褒賞制度(各々につき10万円)	

アドミッションポリシー (学生受入の基本方針)

国際観光ビジネスコースは
 次のような学生を求めます。

- 日本の自然遺産、文化遺産等観光資源を世界で紹介する仕事に就きたい学生。
- 英語の語学力と簿記及びパソコンスキルを活かし、地場産業の海運業等、国際ビジネスに関わりたい学生。
- 国内外の旅行・観光業務に就きたい学生。
- 日本語を学び、今後増加すると予想される外国人観光客を相手に観光ガイドやホテル・旅館等のサービス業に就きたい留学生(及び、更に四大編入を願う留学生)。

※エムエスオフィススペシャリスト検定とは、マイクロソフトの「ワード」・「エクセル」・「パワーポイント」が対象です。今やパソコンスキルをみるグローバルスタンダードな検定です。